

もふもふ

さく・おおしろ あいか



パーと、ブーは、ふたごのようせい。
ふたりとも、なんだかおヒマなようです。

すると、パーが するする 木をおりて、
ブーも するする 木をおりて、

とことこ とことこ とことこ とことこ
なにやらステキなものを見つけたようです。

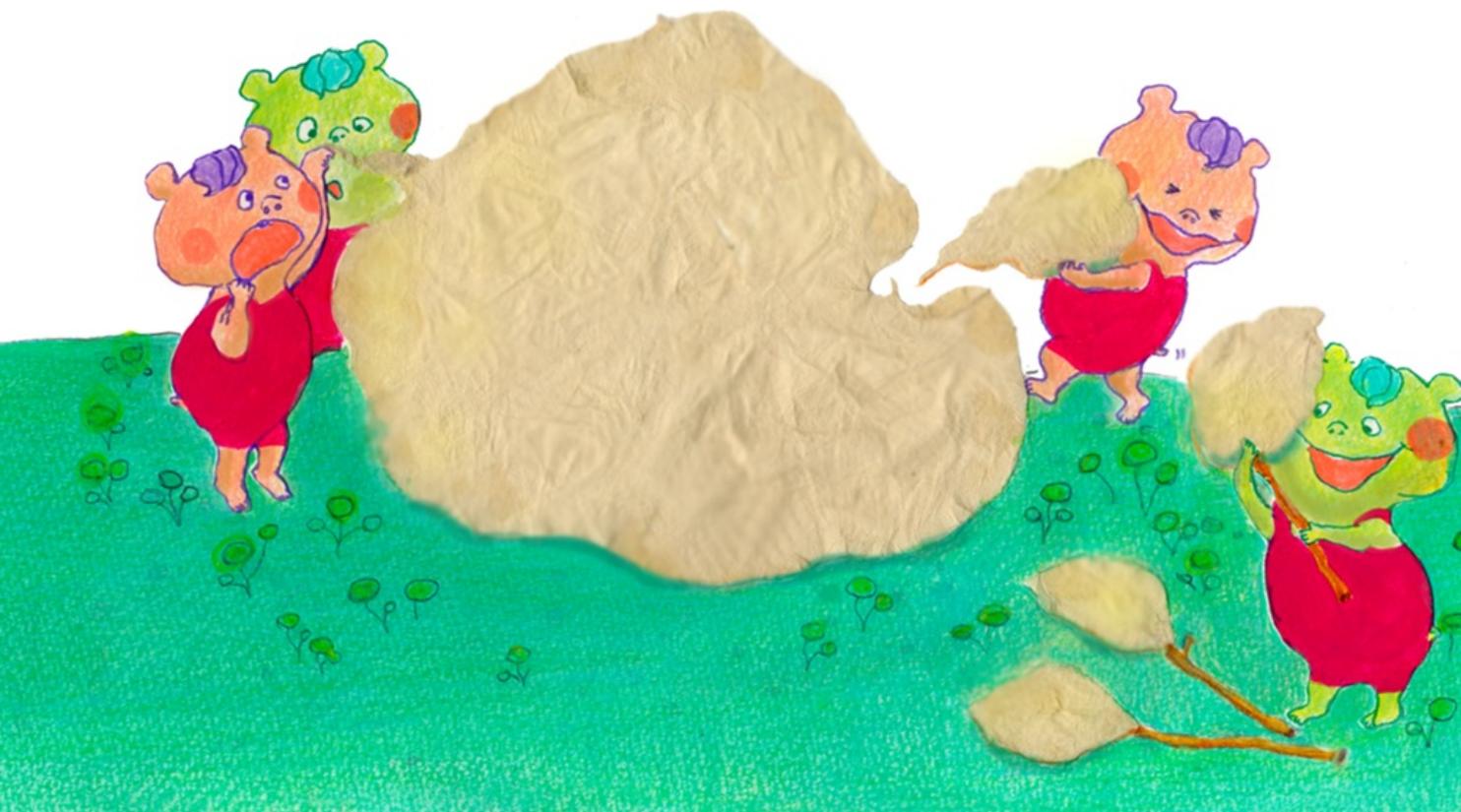


「わあ！なんだろう？」

「これって、なんだか もふもふしてて、いいもち！」

「それにとってもいいかおり！」

パーとプーは、ステキなことをおもいついたようです。



もふもふ もふもふ♪

「ねえ、とりさん
ステキな うたごえ すこし わけてちょうだい」



「ええ、ラララ いいわよルルル」

ルルルルルラ〜♪ ラララルルラ〜♪

パーとブーは、とりさんの
うっとりするような ステキな うたごえを
もふもふ にくるくるっとまぎつけました。



もふもふ もふもふ♪

「ねえ りすさん
ステキな 木の実 すこし わけてちょうだい」



「ポトポトどうぞ♪ たくさんどうぞ」

ぼくらの木の実のちいさなリズム
ポトポトポットン♪ ポトポットン♪

パーとプーは、りすさんの
ちいさな ステキな 木の実を
もふもふ にくるくるっとまきつけました。



もふもふ もふもふ♪

「ねえ うさぎさん
いつものステキなダンスで
わくわくどきどき すこし わけてちょうだい」



「びよんびよん♪ もちろん」

あっちむいて びよん♪ こっちむいてびよんびよん♪

パーとブーは、うさぎさんの
すてきなダンスの、わくわく ときどきを
もふもふ にくるくるっとまきつけました。



もふもふ もふもふ♪

「ねえ ぞうさん
ステキな虹を すこし わけてちょうだい」



「まかせてパオー、いくぞそれー」

お水がきらきら お空がきらきら

パーとブーは、ぞうさんの
きらきらかがやく ステキな大きな虹を
もふもふ にくるくるっとまきつけました。



パーとプーは、もふもふ に
森じゅのステキなものを、まあるくすっきりつつみこむことができました。

とりさんの、うたごえ
りすさんの、小さな木の実
うさぎさんの、ゆかいなダンス
ぞうさんの、大きな虹

どれもステキなものばかり。



それから、パーとブーは木にのぼりました。

「ねえ 太陽さん

森じゅうのステキ がつまったもふもふを、やさしく こんがり やいてちょうだい」

ぽかぽか ぽかぽか もふもふ わくわく♪



「わぁ！ぼかぼか あまーい もふもふ おいしー」

太陽にやさしくやかれたもふもふは、ほっぺが
おちるほどおいしくなりました。

とりさんも、りすさんも、
うさぎさんも、ぞうさんも
それからふたごのようせい、パーとブーも、
みーんな、口をそろえて言いました。

「あぁ、なんて、しあわせなんだろう！」

